



エイズとは、「後天性免疫不全症候群」のこと。生まれた後にかかり、免疫が低下することで本来であれば自分で抑えられる病気や他の感染症を発症してしまう状態のこと。医師が診断するもの。

HIVとは、エイズの原因となるウイルスのこと。HIVに感染してもすぐにはエイズを発症するわけではない。

正しく知ろう

一九八一年、世界で最初にエイズ患者の報告がありました。当時、「死に至る病」というイメージが広がり、世界的にHIV感染に対する恐怖心が高まりました。現在も続いている、差別や偏見の原因とも言えます。

…なぜ「死に至る病」と考えられたのか？

HIVは、人の免疫のしくみの中心であるヘルパーTリンパ球(CD4細胞)という白血球などに感染します。そして免疫力を破壊します。様々な病気を発症し対症療法が行われましたが、HIVに対する直接的な治療方法が確立していなかったことが理由です。

昔のイメージ

現在

HIVに感染した後、自覚症状のない時期が数年続きます。抵抗力が落ちることで発症する代表的で指標となる疾患を発症した時点でエイズと診断されます。ただし、治療の進歩によってエイズの発症を予防したり、遅らせたたりすることが可能となりました。落ちた免疫力を再び高めることもできるようになりました。

現代では、

「治療できる病気」です。

治療を続けることで、体内のウイルス量が大きく減少し、HIVに感染している人から他の人への感染リスクをゼロに近い状態まで下げられます。感染していない方と同じ生活を送ることができます。

正しい行動で、安心

感染を予防をする
↳ 感染経路は限られている
↳ 感染経路の70%は性的接触

HIVは主に血液や精液、膣分泌液へ多く含まれます。コンドームの正しい使用がとても有効です。性交・オーラルセックス時は必ずコンドームを使用します。性器具の共用はしません。コンドームを使用することで他の性感染症予防に繋がります。

HIVの感染力は弱いのです。普段の生活(握手、お皿の共用、便座、蚊に刺されるなど)ではうつりません。

その他、覚せい剤などの注射器の「まわし打ち」は血液を介した感染経路となります。現在の日本の医療機関では、注射器は患者さん毎に使い捨て、献血についても厳重な管理が行われるようになっていきます。

早期発見と早期治療が大事

↳ 誰もがうつる可能性あり

HIVに「かかりやすい人」という考え方はありません。ただ、「かかりやすい行為」が性行為です。いつ、だれが感染してもおかしくありません。無症状の時期が長いので、性行為等の経験があり心配な方は、相談や検査を受けることをおすすめします。

保健所は匿名・無料で、相談・検査を受け付けています

福島県 県北保健所

HIV検査実施日【無料】【希望する方は、梅毒検査も併せてできます】

- 即日検査 ● 1時間ほどお待ちいただき、結果をお伝えします。
毎週月曜日 9:00～10:30 ※完全予約制(4枠) (祝日、第5月曜を除く)
- 夜間検査 ○ 2週間後再度保健所へ来ていただき、結果をお伝えします。
第1・第3月曜日 17:30～18:00 ※完全予約制(2枠)

HIV・梅毒検査をお考えの方へ、

もし感染している場合、HIVや梅毒に対する抗体が体の中で作られます。検査は、保健所内で採血し、血液を利用して抗体の有無を調べます。抗体ができるまで時間がかかりますので、感染が疑われる機会から、3ヶ月以上経過してから検査を受けることをお勧めします。

お問合せ先

医療薬事課
感染症予防
チーム

☎024-534-4108